注３ **大学番号：私600**

認可

［平成24年度設置］

計画の区分：大学の設置

注１

横浜創英大学

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　堀井学園

平成２４年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　横浜創英大学事務局

職名・氏名　次長（シチョウ）　鈴木（スズキ）　直吉（ナオヨシ）

電話番号　０４５－９２２－５６４１

（夜間）　０４５－９２２－５６４１

ＦＡＸ　０４５－９２２－５６４２

ｅ－mail　swift@soei.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には認可時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学新設の場合：「○○大学」

・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は，表題を修正してください。

３　大学番号の欄については、平成２４年３月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

報告書作成に係る全体の注意事項

1．本報告書は，平成２４年５月１日現在で作成してください。

2．様式中の項目にある注書きは削除せず，記載したままにしてください。

3．全ページ通しページを付すとともに，表紙の次に目次を入れてください。

4．項目ごとにインデックス（番号のみ）を貼付してください。

5．本報告書は，Ａ４サイズ縦型，両面印刷，左上とじ，左側２穴空けとしてください。（背表紙などは不要です。）

6．原則として，「設置区分」（認可時「基本計画書」の「計画の区分」）ごとに報告書を作成してください。
（ただし，同じ開設年度に複数の学科を同じ学部に設置した場合等については，記載内容の重複を考慮し，複数の「設置区分」の学部等をまとめて１つの報告書で提出してもかまいません。）

7．昨年度以前に報告した箇所は黒字で残し，本年度に変更する箇所は朱書き・見え消し修正にて記載してください。

8．該当がない項目については「該当なし」と記載し，インデックスも貼付してください。

9．大学番号の欄については、平成２４年３月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について」（依頼）の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目　　次

1　調査対象大学等の概要等 …… P1

2　授業科目の概要 …… P5

3　施設･設備の整備状況､経費 …… P16

4　既設大学等の状況 …… P17

5　教員組織の状況 …… P18

6　留意事項に対する履行状況等 …… P32

7　その他全般的事項 …… P34

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学　校　法　人　　堀　井　学　園

（2）大　学　名

横　浜　創　英　大　学

（3）大学の位置

〒２２６－００１５
神奈川県横浜市緑区三保町１番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	届　　出　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ホリイモトアキ） 堀井　基章 （昭和６０年３月）	「該当なし」	
学　　長	（コジマケンイチ） 小島　謙一 （平成２４年４月）	「該当なし」	
看護学部長	（モリタタカコ） 森田　孝子 （平成２４年４月）	「該当なし」	
こども教育学部長	（シゲシタカズオ） 繁下　和雄 （平成２４年４月）	「該当なし」	

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２１年度に報告済の内容　→（21）
平成２４年度に報告する内容　→（24）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

（5） 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・ 様式は，平成２１年度開設の４年制の学科の場合（平成２４年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	4	80	－	320	
こども教育学部 幼児教育学科 学士（教育学）	4	80	－	320	

（注）・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

＜看護学部 看護学科＞

区分＼対象年度	平成２４年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 （ － ） ［ － ］	人	1.25倍	
志願者数	502 （ ） ［ ］	（ ） ［ ］		
受験者数	467 （ ） ［ ］	（ ） ［ ］		
合格者数	153 （ ） ［ ］	（ ） ［ ］		
B 入学者数	100 （ ） ［ ］	（ ） ［ ］		
入学定員超過率 B／A	1.25			

＜こども教育学部　幼児教育学科＞

区分 ＼ 対象年度	平成２４年度 春季入学	平成２４年度 その他の学期	平均入学定員超過率	備考
A　入学定員	人 80 (－) [－]	人	0.475倍	
志願者数	49 ( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	47 ( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	44 ( ) [ ]	( ) [ ]		
B　入学者数	38 ( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B／A	0.475			

（注）・　数字は，平成２４年５月１日現在の数字を記入してください。

・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。

・　[　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。

・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

＜看護学部　看護学科＞

学年 ＼ 対象年度	平成２４年度 春季入学	平成２４年度 その他の学期	備考
１年次	[ ] 100	[ ]	
２年次			
３年次			
４年次			
計	[ ] 100		

＜こども教育学部　幼児教育学科＞

対象年度 / 学　年	平成２４年度		備考
	春季入学	その他の学期	
１年次	[　　] 38	[　　]	
２年次			
３年次			
４年次			
計	[　　] 38		

（注）・　数字は，平成２４年５月１日現在の数字を記入してください。

・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。

2　授業科目の概要

＜看護学部　看護学科＞

（1） 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
基礎分野（教養科目）	サイエンス・リテラシー	大学で学ぶとは（含建学の精神）	1前	1			1					
		サイエンスの考え方	1前	1								
		サイエンスの観察技法	1前		1							
		サイエンスの応用	1後		1							
		サイエンスのレポート技法（読み方と書き方）	1前	1								
		コンピュータリテラシー1（ワードとエクセル）	1前	1								
		コンピュータリテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション）	1後		1							
		コンピュータリテラシー3（画像と動画）	1・2・3・4後		1							
		医療リテラシー	1・2・3・4後		1		1					
		環境リテラシー	1・2・3・4前		1							
		情報リテラシー	1後	1								
		統計と分析	1後	1								
		経営情報論（IT社会・経営）	1・2・3・4後		1							
	ヒューマン・リテラシー	癒しと心	1・2後	1								
		感性と人間性	1・2後		1							
		倫理と道徳	1後	1			1					
		コミュニケーション論	1前	1								
		ジェンダー論	1・2・3・4後		1							
		教育臨床心理学	1後		1							
		教育論	1・2・3・4後		1							
		家族社会論	1・2・3・4前		1							
		芸術論	1・2・3・4前		1							
		日本文化論	1・2・3・4前		1							
		異文化論	1・2・3・4後		1							
		人間発達論	1前	1			3	1				
		生活と法律（含日本国憲法）	1後		2							
		文章論	1後		1							
		健康・スポーツ論	1前		1							
		健康・スポーツ（演習）	1前	1								
		英語Ⅰ	1前	1								
		英語Ⅱ	1後	1								
		英語Ⅲ	2前		1							
		中国語Ⅰ	1・2・3・4前		1							
		中国語Ⅱ	1・2・3・4後		1							
		韓国語	1・2・3・4前		1							
専門基礎分野		知的探求入門	1通年		2		4					24年度は、着任している3人で指導。
	看護の対象の理解	人の形態と生活・機能Ⅰ	1前	1								
		人の形態と生活・機能Ⅱ	1前	1								
		人の形態と生活・機能Ⅲ	1後	1								
		人の形態と生活・機能Ⅳ	1後	1								
		人体の機能と構造学演習	2前	1								
		病理学	1後	1								
		生命倫理	1後	1								
		精神保健論	2前	1								
		栄養学Ⅰ	1後	1								
		栄養学Ⅱ	2前		1							
		生化学	1前	1								

専門基礎分野	病気の成り立ちと回復支援	微生物学	1前	1								
		臨床薬理学	3前	1								
		臨床心理学	2後	1								
		症候論Ⅰ	2前	1								
		症候論Ⅱ	2前	1								
		症候論Ⅲ	2後	1								
		症候論Ⅳ	2後	1								
	健康生活への支援	公衆衛生学	2前	1			1					
		疫学	2前	2			1					
		保健統計学	2前	2			1					
		社会保障行政論Ⅰ	2前	1			1					
		社会保障行政論Ⅱ	2後		1		1					
		保健医療福祉行政論Ⅰ	2後	2			2					
		保健医療福祉行政論Ⅱ	3前		1		2					
		医療情報学	3前	1			1					
		医療情報学演習	3前		1		1					
		医療管理学	3前		1		1					
専門分野	看護の基礎	看護学概論	1前	2			1					
		看護学援助論Ⅰ	1前	2			1	1	3			
		看護学援助論Ⅱ	1後	1			1	1	3			
		看護学援助論Ⅲ	2前	1			1	1	3			
		看護学援助論Ⅳ	2前	1			1	1	3			
		看護学方法論Ⅰ	2前	1			1	1	3			
		看護学方法論Ⅱ	2前	1			1	1	3			
		基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			5	1	5	7	4	講師松本幸枝、助教西田幸典就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未 担当　中村美幸（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	4	1	4	講師松本幸枝就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
	発達段階の看護	成人看護学概論	2前	2			2					
		成人看護学方法論Ⅰ	2後	1			1	1	1			講師松本幸枝就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		成人看護学方法論Ⅱ	2後	1			1		1			講師松本幸枝就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		成人看護学方法論Ⅲ	3前	1			1	1	1			講師松本幸枝就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		成人看護学方法論Ⅳ	3後	1			1		1	1	1	講師松本幸枝、助教西田幸典就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未 担当　中村美幸（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		成人看護学実習・急性期	4前	3			1	1	1	1	1	講師松本幸枝、助教西田幸典就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未 助教の後任は、25年度採用予定

専門分野	発達段階の看護	成人看護学実習・慢性期	3後	3			1	1	2	1	3	講師松本幸枝, 助教西田幸典就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未 担当　中村美幸（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		高齢者看護学概論	2前	1			1					
		高齢者看護学方法論Ⅰ	2後	2			1			2 ~~1~~		採用予定人数の充足 担当　中村美幸（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		高齢者看護学方法論Ⅱ	3前	1			1			1		
		高齢者看護学実習Ⅰ	2後	2			1			5	3	助教西田幸典就任辞退により教員を変更 担当　中村美幸（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		高齢者看護学実習Ⅱ	4前	2			1			2 ~~1~~	3	採用予定人数の充足 担当　中村美幸（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		小児看護学概論	2前	2			1					
		小児看護学方法論Ⅰ	3前	1			1		1			
		小児看護学方法論Ⅱ	3後	1			1		1	1		
		小児看護学実習Ⅰ	2後	1			1	1	2	2	1	
		小児看護学実習Ⅱ	4前	1			1		2	2		
		母性看護学概論	2前	2				1				
		母性看護学方法論Ⅰ	2後	1				1	1			
		母性看護学方法論Ⅱ	3前	1				1	1			
		母性看護学実習	3後	2			1	1	2	2	1	
	生活の中の看護	精神看護学概論	2前	1					1			
		精神看護学方法論Ⅰ	2後	1					1	1		
		精神看護学方法論Ⅱ	3前	1					1	1		
		精神看護学実習	3後	2					1	2	1	
		在宅看護概論	2後	1			1					
		在宅看護方法論Ⅰ	3前	1			1		1	1		
		在宅看護方法論Ⅱ	3後	1			1		1			
		在宅看護実習	4前	2			1	1	2	3	1	
		家族看護論Ⅰ	3前	1			1					
		家族看護論Ⅱ	3後		1		1		1			
		認知症看護論	3後		1		1					
		リハビリテーション看護論	3前	1								
		公衆衛生看護学概論	2前	2			1					
		公衆衛生看護学Ⅰ	2後		1			1				
		公衆衛生看護学Ⅱ	3前		1		1	1		1		
		公衆衛生看護学Ⅲ	3後		1		1					
		産業保健活動論	3後		1							
		学校保健論	3後		2							
		公衆衛生看護学実習	3・4後		5		2	1	1	1		
		国際看護論	3後		1		1	1				

看護の統合	社会のニーズにこたえる看護	看護とコミュニケーション	1後	1			1		1	1		大学設置留意事項により教員を追加 担当　塚本都子（助教） 平成24年2月　教員審査 判定　可
		がん看護	3前	1			1					
		ターミナルケア論	3前		1		3		1			
		救急・災害看護学	3後	1				1	1			講師松本幸枝就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		先端医療と看護	3後		1		1		1			講師松本幸枝就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		チーム医療論	3後	1			1		1			教員を追加 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		看護と環境	2後		1		4	1	1			
		看護倫理・法	3前	1			2					
		看護管理学Ⅰ	3前	1			1					
		看護管理学Ⅱ	3後		1		1					
		看護情報学	2前	1			2					
		地域保健医療福祉連携論	3後		1		3					
		医療安全学	3前	1			2					
		看護教育学	4前		1		1					
		感染看護学	2前	1				1		1		大学設置留意事項により教員を追加 担当　中村美幸（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		癒しのケア論	4後		1		1					
		専門職論	4後		1		1	1	1			講師松本幸枝就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		看護研究	2後	1			3					
		ゼミナール	3～4通年	3			8	4	8			講師松本幸枝就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		統合実習	4後	2			6	3	7	6	4	講師松本幸枝、助教西田幸典就任辞退により教員を変更 担当　藤村朗子（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未 担当　中村美幸（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未

教職科目	養護教諭課程	児童精神医学（養護教諭）	3前			2						
		養護概説	3前			2	1					
		健康相談活動及び方法	3後			2	1					
		教職論（養護教諭）	3前			2			1			教職課程認定申請の審査の指摘により教員を変更（24） 担当　水野進（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		教育原理（養護教諭）	1後			2			1			教職課程認定申請の審査の指摘により教員を変更（24） 担当　水野進（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		発達心理学（養護教諭）	1後			2	1					教職課程認定申請の審査の指摘により科目を変更し、教員を追加する 担当　久保恭子（教授） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		教育社会学（養護教諭）	2後			2			1			
		教育課程と指導計画（養護教諭）	2前			2						
		道徳教育の理論と方法（養護教諭）	3前			2						
		教育相談（養護教諭） ~~カウンセリング論（養護教諭）~~	2前			2			1			教職課程認定申請の審査の指摘により科目名称及び教員を変更 担当　水野進（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		生徒指導の理論と実際	3後			2			1			教職課程認定申請の審査の指摘により教員を変更 担当　水野進（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		教職実践演習（養護教諭）	4後			2	1					
		養護実習	4後			5	1	1	1	1		
		~~ボランティア論~~	~~2後期~~			~~2~~						教職課程認定申請の審査の指摘により科目を廃止

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２３年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
89	45	13	147	89 [　　]	45 [　　]	13 [+1 △1]	147 [+1 △1]	

（注）・　未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

（注）・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	ボランティア論	2	2後期	専門	自由	教職課程科目として設定したが、教職課程認定審査で不適との指摘を受け廃止

（注）・ 設置認可時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止した授業科目については、教職課程認定審査の指摘が、開学前であり、学生への影響は考えられない。学生には、修正されたカリキュラムを配付して周知している。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}\quad 1}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}\quad 147} = 0.68$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

＜こども教育学部　幼児教育学科＞

（１） 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
基礎分野（教養科目）	サイエンス・リテラシー	大学で学ぶとは（含建学の精神）	1前	1			1					
		サイエンスの考え方	1前	1			2		1			
		サイエンスの観察技法	1前	1			2		1			
		サイエンスの応用	1後		1		2		1			
		サイエンスのレポート技法（読み方と書き方）	1前	1			1		1			
		コンピュータリテラシー1（ワードとエクセル）	1前	1			1		2			
		コンピュータリテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション）	1前	1			1		2			
		コンピュータリテラシー3（画像と動画）	1後		1		1		2			
		医療リテラシー	1後		1							
		環境リテラシー	1前		1							
		情報リテラシー	1後	1					1			
		統計と分析	1後		1		1					
		経営情報論（IT社会・経営）	1後		1				1			
	ヒューマン・リテラシー	癒しと心	1後	1			1					
		感性と人間性	1後		1		1					
		倫理と道徳	1後	1			1					
		コミュニケーション論	1前	1								
		ジェンダー論	1後		1		1					教授内海﨑貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査 判定　可
		教育臨床心理学	1後		1			1				
		教育論	1後		1		1					教授内海﨑貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査 判定　可
		家族社会論	1前		1							
		芸術論	1前		1							
		日本文化論	1前		1							
		異文化論	1後		1							
		人間発達論	1前	1			1					
		生活と法律（含日本国憲法）	1後		2							
		文章論	1後		1							
		健康・スポーツ論	1前	1				1				
		健康・スポーツ（演習）	1前		1							
		英語Ⅰ	1前	1				1		1		
		英語Ⅱ	1後	1				1		1		
		英語Ⅲ	2前		1			1				
		中国語Ⅰ	1・2・3・4前		1							
		中国語Ⅱ	1・2・3・4後		1							
		韓国語	1・2・3・4前		1							
		国語	1後 ~~4前~~		2							教職課程認定申請の審査の指摘により配当年次を変更（24）
		生活	1前 ~~4後~~		2		1					教職課程認定申請の審査の指摘により配当年次を変更（24）
		幼児指導法	2前	2			1					
		保育者論	1後	2			1					
		教職論	2前	2			1					教授内海﨑貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査 判定　可

専門科目	教育・保育の研究	生活	1前 4後		2		1				教職課程認定申請の審査の指摘により配当年次を変更（24）
		教育史	1後		2		1				教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査 判定　可
		教育社会学	2後		2						
		教育原理	1前		2		1				教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査 判定　可
		道徳教育の理論と方法	3前		2		1				教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査 判定　可
		幼児教育原理	2後	2			1				
		障がい児保育Ⅰ	2前	1							
		障がい児保育Ⅱ	2後		1						
		乳児保育Ⅰ	2後		1			1			
		乳児保育Ⅱ	3前		1			1			
		保育原理Ⅰ（思想と歴史）	1前	2			1				
		保育原理Ⅱ（現状と課題）	1後		2		1				
		教育課程と指導計画	2前		2		1				
	教育・保育の研究	保育課程論	2後		2		1				
		教職実践演習（幼） 教職実践演習	4後		2		2				教職課程認定申請の審査の指摘により科目名称を変更（24） 教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　葉山登（教授） 平成24年6月　提出予定 判定　未 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査済 判定　可
		保育実践演習	4後		2		~~1~~	1	1	1	教授内海崎貴子就任辞退により教員数を変更(24) 兼任講師髙橋祥子を充当
		統合保育論	1後		2						
		幼児理解の理論と方法	1前		2			1			
		幼児教育実地研究演習	1前	1			1			1	1
		幼児教育実地研究	1後	1			1			1	1
		基礎ゼミナール	1前	1			1	1	1	1	教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査済 判定　可
	保育の理解	保育内容総論	1前	1			1				
		保育内容演習Ⅰ（3歳未満児）	2後		2			1			
		保育内容演習Ⅱ（幼児）	3前		2		1				
		保育環境論	1後		2		1			1	
		保育内容「健康」の指導法	1後	2			1				
		保育内容「環境」の指導法	1後	2			1				
		保育内容「人間関係」の指導法	2前	2			1				
		保育内容「言葉」の指導法	2前	2			1				
		保育内容「表現」の指導法	2前	2			2				
		教育の方法と技術 ~~保育方法論~~	2後		2					1	教職課程認定申請の審査の指摘により科目名称を変更（24） 担当　江島絵理子（助教） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		教材研究Ａ（造形）	3前		2		1				
		教材研究Ｂ（音楽）	3後		2		1				
		教材研究Ｃ（運動）	4前		2		1				
		子どもとメディア	3後		2			1			
		子どもと自然	3後		2						
		発達心理学 生涯発達心理学	1前	2				1	1		教職課程認定申請の審査の指摘により科目名称を変更、専任教員を追加、教員審査後に開講のため平成24年度のみ集中講義とする（24）

専門科目	子どもの心理と臨床											担当　牧野有可里（准教授） 平成24年6月　提出予定 判定　未
												担当　丹羽さがの（講師） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		保育と心理学	1後	1					1			
		道徳性の発達	2後		2				1			
		子どもの発達と臨床Ⅰ	3前		2			1				
		子どもの発達と臨床Ⅱ	3後		2			1				
		子どもの心理療法	4後		2			1				
		家族関係論	2前		2							
		家族病理研究	4前		2			1				
		教育相談 ~~カウンセリング論~~	2後	2				1				教職課程認定申請の審査の指摘により科目名称を変更（24）
												担当　牧野有可里（准教授） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		虐待の精神医学	4後		2		1					
		児童精神医学	4前		2		1					
	生活と福祉	社会福祉	1前		2							
		相談援助	3後		1			1				
		社会的養護	2前		2			1				
		社会的養護内容	2後		1			1				
		児童家庭福祉	1後		2			1				
		家族支援論	2前		2			1				
		保育相談支援	3前		1			1				
		特別支援保育概論	3後	2								
		特別支援保育の方法	4前		2							
		子育てとジェンダー	3後		2		1					教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更（24）
												担当　蔵原三雪（教授） 平成24年6月　提出予定 判定　未
		ボランティア論	1後		2		~~1~~					教授内海崎貴子就任辞退により教員数を変更（24） 兼任講師普光院亜紀を充当
		生涯学習論	4後		2		1			1		
		子育て支援論Ａ（幼稚園	3前		2				1			
		子育て支援論Ｂ（保育所）	3後		2							
		子育て支援論Ｃ（施設）	3前		2			1				
		キャリア教育	2後		2		1					
	生活と健康	子どもの保健Ⅰ	1通	4				1				
		子どもの保健Ⅱ	2前		1			1				
		病児・病後児保育論	3後	2				1				
		病児・病後児保育実地研究	4前		1			1				
		子どもの障がい論	3後		2							
		小児救急処置法	3前		1							
		子どもの食と栄養	2後		2							
		体育Ⅰ	2通		2			1				
		体育Ⅱ	3通		2			1				
		子どもと運動	1前		2		1					
		野外活動	4前		2			1				
		健康教育学	1後		2							
		健康教育学演習	2前		1							
		食育保育論	3前		2							
		母子保健概論	2後		2			1				
		母子保健演習	3前		1			1				
	保育文化	音楽Ⅰ	2通		2		1		1			
		音楽Ⅱ	3通		2				1			
		図画工作Ⅰ	2通		2		1					
		図画工作Ⅱ	3通		2		1					
		音楽基礎Ａ（理論・ソルフェージュ）	1通		2							
		音楽基礎Ｂ（歌唱・伴奏）	2通		2							
		音楽基礎Ｃ（器楽）	2通		2				1			
		音楽基礎Ｄ（表現活動）	3通		2							
		ピアノＡ（入門）	1通		2		1		1			

専門科目	と表現活動	ピアノＢ（初級）	1通		2		1		1			
		ピアノＣ（中級）	2通	2			1		1			
		ピアノＤ（応用）	4通		2				1			
		造形基礎Ａ	1前		2		1					
		造形基礎Ｂ	1後		2		1					
		造形保育論	2前		2		1					
		児童文化	4前		2		1					
		児童文学	3後		2		1					
		絵本論	1前		2		1					
		遊びの文化研究	4後		2					1		
	卒業研究	研究法Ａ（文献研究）	3前	2			1					教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査済 判定　可
		研究法Ｂ（フィールド研究）	3前	2					1			
		卒業研究	4通	4			6	4	2			教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査済 判定　可
		卒業研究ゼミナール	3通	2			6	4	2			教授内海崎貴子就任辞退により教員を変更(24) 担当　蔵原三雪（教授） 平成24年2月　教員審査済 判定　可
	実習	幼稚園教育実習事前事後指導Ⅰ	3後		1		1		1		1	
		幼稚園教育実習事前事後指導Ⅱ	4前		1				1	1	1	
		幼稚園教育実習Ⅰ	3集		2		1		1		1	
		幼稚園教育実習Ⅱ	4前		2				1	1	1	
		保育実習事前事後指導ⅠＡ（保育所）	3前		1			1		1	1	
		保育実習事前事後指導ⅠＢ（施設）	3前		1		1	1			1	
		保育実習事前事後指導Ⅱ（保育所）	4前		1				1	1	1	
		保育実習事前事後指導Ⅲ（施設）	4前		1			1			1	
		保育実習ⅠＡ（保育所）	3集		2			1		1	1	
		保育実習ⅠＢ（施設）	3集		2		1	1			1	
		保育実習Ⅱ（保育所）	4集		2				1	1	1	
		保育実習Ⅲ（施設）	4集		2			1			1	

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２３年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 85	科目 61	科目 7	科目 153	科目 85 [　　]	科目 61 [　　]	科目 7 [　　]	科目 153 [　　]	

（注）・　未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

（注）・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	「該当なし」					

（注）・ 設置認可時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}\quad 0}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}\quad 153} = \text{「該当なし」}$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	4,265 ㎡	－ ㎡	－ ㎡	4,265 ㎡	
	運動場用地	5,194 ㎡	－ ㎡	－ ㎡	5,194 ㎡	
	小計	9,459 ㎡	－ ㎡	－ ㎡	9,459 ㎡	
	その他	22,263 ㎡	－ ㎡	－ ㎡	22,263 ㎡	
	合計	31,722 ㎡	－ ㎡	－ ㎡	31,722 ㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		11,058 ㎡ (11,058㎡)	－ ㎡ (－ ㎡)	－ ㎡ (－ ㎡)	11,058 ㎡ (11,058㎡)	体育館、部室等を除く

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	11 室	40 室	1 室	3 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	看護学部　看護学科	31 室	こども教育学部は、部屋の増設(24) 看護学部、他に学部長室1 こども教育学部、他に学部長室1
	こども教育学部　幼児教育学科	18 ~~17~~ 室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	看護学部	25,940〔1,853〕 (24,233〔1,698〕)	93〔19〕 (93〔19〕)	14〔14〕 (14〔14〕)	708 (708)	2,924 (2,497)	118 (106)	
	こども教育学部	24,213〔1,680〕 (23,780〔1,596〕)	66〔19〕 (66〔19〕)	7〔7〕 7〔7〕	670 (670)	4,341 (4,341)	1 (1)	
	計	50,153〔3,533〕 (48,013〔3,294〕)	159〔38〕 (159〔38〕)	21〔21〕 (21〔21〕)	1,378 (1,378)	7,265 (6,838)	119 (107)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	863 ㎡	138	80,000冊	大学全体

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		
	442 ㎡	－	－	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員１人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	54,398千円	10,188千円	－ 千円
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	141,596千円	19,720千円	－ 千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,868千円	1,568千円	1,568千円	1,568千円	－ 千円	－ 千円
	1,448千円	1,148千円	1,148千円	1,148千円	－ 千円	－ 千円
学生納付金以外の維持方法の概要	補助金収入、資産運用収入、雑収入等					

（注）・　設置認可時の計画を，認可申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（24）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4　既設大学等の状況

大学の名称	横浜創英短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	3	80	－	－	短期大学士（看護学）	－	平成19年	神奈川県横浜市緑区三保町1番地	平成24年度より学生募集停止
情報学科	2	80	－	－	短期大学士（情報学）	－	平成元年	同上	

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が，設置している全ての大学の学部，学部の学科，短期大学の学科及び高等専門学校の学科（ＡＣ対象学部等を含む）について，大学，短期大学又は高等専門学校ごとに，平成２４年５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

・　「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。

・　学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成○年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜看護学部　看護学科＞

（1） 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	森田孝子（70）	平成24年4月	大学で学ぶとは（含建学の精神） 医療リテラシー 倫理と道徳 人間発達論 成人看護学概論 成人看護学方法論 I 成人看護学方法論 III 成人看護学実習・急性期 看護とコミュニケーション ターミナルケア論 先端医療と看護 チーム医療論 看護倫理・法 看護情報学 看護教育学 専門職論 統合実習						
					専	助教	塚本都子（45）	平成24年4月	看護とコミュニケーション	大学設置教員審査結果により教員を追加 平成23年12月教員変更提出済 平成24年2月教員審査済（24）
					専	講師	藤村朗子（36）	平成25年4月	チーム医療論	教員の追加（24） 平成24年6月変更書提出予定
専	教授	土屋八千代（67）	平成25年4月	成人看護学概論 成人看護学方法論 II 成人看護学方法論 IV 成人看護学実習・慢性期 がん看護 ターミナルケア論 看護と環境 看護倫理・法 医療安全学 癒しのケア論 看護研究 ゼミナール 統合実習 知的探求入門						
専	教授	門川由紀江（64）	平成24年4月	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学 II 公衆衛生看護学 III 公衆衛生看護学実習 基礎看護学実習 I ゼミナール 養護概説 健康相談活動及び方法 教職実践演習（養護教諭） 養護実習						

専	教授	佐藤敏子 (62)	平成24年4月	人間発達論 高齢者看護学概論 高齢者看護学方法論Ⅰ 高齢者看護学方法論Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 家族看護論Ⅰ 家族看護論Ⅱ 認知症看護論 ターミナルケア論 地域保健医療福祉連携論 ゼミナール 統合実習 知的探求入門						
					専	助教	中村美幸 (49)	平成24年9月	高齢者看護学方法論Ⅰ	採用予定人数の充足により担当教員を追加（24） 平成24年6月変更書提出予定
					専	助教	中村美幸 (49)	平成24年9月	高齢者看護学実習Ⅱ	採用予定人数の充足により担当教員を追加（24） 平成24年6月変更書提出予定
専	教授	田中彰子 (64)	平成26年4月	医療管理学 看護管理学Ⅰ 看護管理学Ⅱ 地域保健医療福祉連携論 医療安全学 ゼミナール 統合実習						
専	教授	桑田恵子 (61)	平成24年4月	看護学概論 看護学援助論Ⅰ 看護学援助論Ⅱ 看護学援助論Ⅲ 看護学援助論Ⅳ 看護学方法論Ⅰ 看護学方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護と環境 ゼミナール 統合実習 知的探求入門						
専	教授	星山佳治 (57)	平成24年4月	公衆衛生学 疫学 保健統計学 社会保障行政論Ⅰ 社会保障行政論Ⅱ 保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ 医療情報学 医療情報学演習 基礎看護学実習Ⅰ 看護情報学 ゼミナール						
専	教授	久保恭子 (45)	平成24年4月	人間発達論 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学概論 小児看護学方法論Ⅰ 小児看護学方法論Ⅱ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 国際看護論 看護と環境 看護研究 ゼミナール 統合実習 知的探求入門						
								平成24年4月	発達心理学 （養護教諭）	担当科目の追加（24） 平成24年6月変更書提出予定

専	教授	河原智江 (43)	平成24年4月	保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護概論 在宅看護方法論Ⅰ 在宅看護方法論Ⅱ 在宅看護実習 公衆衛生看護学実習 看護と環境 地域保健医療福祉連携論 看護研究 ゼミナール						
専	准教授	市川茂子 (58)	平成24年4月	看護学援助論Ⅰ 看護学援助論Ⅱ 看護学援助論Ⅲ 看護学援助論Ⅳ 看護学方法論Ⅰ 看護学方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ ゼミナール 統合実習						
専	准教授	井上真弓 (59)	平成25年4月	在宅看護実習 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学実習 ゼミナール 養護実習						
専	准教授	柴田文子 (56)	平成25年4月	人間発達論 小児看護学実習Ⅰ 母性看護学概論 母性看護学方法論Ⅰ 母性看護学方法論Ⅱ 母性看護学実習 ゼミナール 統合実習						
専	准教授	石井美恵子 (50)	平成25年4月	成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学方法論Ⅲ 成人看護学実習・急性期 成人看護学実習・慢性期 国際看護論 救急・災害看護学 看護と環境 感染看護学 専門職論 ゼミナール 統合実習						
					専	助教	中村美幸 (49)	平成24年9月	感染看護学	大学設置認可時の留意事項により担当教員を追加（24） 平成24年6月変更届提出予定
専	講師	柏木恵子 (62)	平成25年4月	小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学方法論Ⅰ 母性看護学方法論Ⅱ 母性看護学実習 家族看護論Ⅱ ゼミナール 統合実習						
専	講師	水野進 (59)	平成24年4月	教育社会学（養護教諭）						
専	講師	江藤和子 (57)	平成25年4月	精神看護学概論 精神看護学方法論Ⅰ 精神看護学方法論Ⅱ 精神看護学実習 在宅看護実習 看護とコミュニケーション 看護と環境 ゼミナール 統合実習						

専	講師	石舘美弥子 (53)	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学方法論Ⅰ 小児看護学方法論Ⅱ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 ゼミナール 統合実習						
専	講師	戸塚智美 (53)	平成25年4月	在宅看護方法論Ⅰ 在宅看護方法論Ⅱ 在宅看護実習 公衆衛生看護学実習 ターミナルケア論 ゼミナール 養護実習						
専	講師	中島正世 (50)	平成24年4月	看護学援助論Ⅰ 看護学援助論Ⅱ 看護学援助論Ⅲ 看護学援助論Ⅳ 看護学方法論Ⅰ 看護学方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ ゼミナール 統合実習						
専	講師	松本幸枝 (50)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅲ 成人看護学方法論Ⅳ 成人看護学実習・急性期 成人看護学実習・慢性期 先端医療と看護 ゼミナール 統合実習 救急・災害看護学 専門職論	専	講師	藤村朗子 (36)	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学方法論Ⅰ 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅲ 成人看護学方法論Ⅳ 成人看護学実習・急性期 成人看護学実習・慢性期 先端医療と看護 ゼミナール 統合実習 救急・災害看護学 専門職論	平成24年2月 松本専任講師家庭の事情により就任辞退のため担当者変更（24） 平成24年6月変更書提出予定
専	講師	澤田和美 (46)	平成24年4月	看護学援助論Ⅰ 看護学援助論Ⅱ 看護学援助論Ⅲ 看護学援助論Ⅳ 看護学方法論Ⅰ 看護学方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習・慢性期 ゼミナール 統合実習						
専	講師	吉川奈緒美 (45)	平成24年4月	看護学援助論Ⅰ 看護学援助論Ⅱ 看護学援助論Ⅲ 看護学援助論Ⅳ 看護学方法論Ⅰ 看護学方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ ゼミナール 統合実習						

専	助教	椎野雅代 (58)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅰ 精神看護学方法論Ⅰ 精神看護学方法論Ⅱ 精神看護学実習 在宅看護実習 統合実習						
専	助教	井上聡子 (46)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅰ 精神看護学実習 在宅看護実習 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学実習						
専	助教	塚本都子 (45)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 高齢者看護学方法論Ⅰ 高齢者看護学方法論Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ 高齢者看護学実習Ⅱ 統合実習						
専	助教	鈴木恵 (44)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習						
専	助教	末田千恵 (43)	平成24年4月	高齢者看護学実習Ⅰ 在宅看護方法論Ⅰ 在宅看護実習 養護実習						
専	助教	西田幸典 (43)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学方法論Ⅳ 成人看護学実習・急性期 成人看護学実習・慢性期 高齢者看護学実習Ⅰ 統合実習	専	助教	中村美幸 (49)	平成24年9月	基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学方法論Ⅳ	平成24年3月 西田専任助教が就任辞退したため(24) 平成24年6月変更書提出予定
							後任未定		成人看護学実習・急性期	「後任未定」採用活動中。
					専	助教	中村美幸 (49)	平成24年9月	成人看護学実習・慢性期 高齢者看護学実習Ⅰ 統合実習	平成24年3月 西田専任助教が就任辞退したため(24) 平成24年6月変更書提出予定
専	助教	山下麻実 (36)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学方法論Ⅱ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 統合実習						
専	助教	宍戸路佳 (31)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 統合実習						
兼担	学長 教授	小島謙一 (69)	平成24年4月	大学で学ぶとは（含建学の精神） サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 知的探求入門						
兼担	教授	竹山孝二 (63)	平成24年4月	癒しと心 感性と人間性 倫理と道徳 人間発達論 精神保健論 児童精神医学（養護教諭） 知的探求入門						
兼担	教授	内海崎貴子 (55)	平成24年4月	ジェンダー論 教育論 道徳教育の理論と方法（養護教諭） 教職実践演習（養護教諭）	兼担	教授	藏原三雪 (65)	平成24年4月	ジェンダー論 教育論 道徳教育の理論と方法（養護教諭） 教職実践演習（養護教諭）	平成23年11月内海崎貴子兼担教授病気により就任辞退のため担当者変更（24）
				ボランティア論						教職課程認定審査の指摘により科目廃止（24）
兼担	教授	野尻裕子 (53)	平成24年4月	教育課程と指導計画（養護教諭）						

兼担	教授	橋本雄幸 (45)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 サイエンスのレポート技法（読み方と書き方） コンピュータ リテラシー1（ワードとエクセル） コンピュータ リテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション） コンピュータ リテラシー3（画像と動画） 統計と分析 知的探求入門						
兼担	准教授	溝口武史 (47)	平成24年4月	健康・スポーツ論						
兼担	准教授	武井博美 (46)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ						
兼担	准教授	牧野有可里 (44)	平成24年4月	教育臨床心理学 臨床心理学						
				カウンセリング論（養護教諭）	兼担	講師	水野進 (59)	平成24年4月	教育相談（養護教諭）	教職課程認定審査の指摘により科目名称の変更及び担当教員を追加（24）
					兼任	講師	物部博文 (40)	平成24年4月		
兼担	講師	三浦達也 (47)	平成24年4月	コンピュータ リテラシー1（ワードとエクセル） コンピュータ リテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション） コンピュータ リテラシー3（画像と動画） 情報リテラシー 経営情報論（ITと社会・経営）						
兼担	講師	若生啓 (32)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 サイエンスのレポート技法（読み方と書き方） コンピュータ リテラシー1（ワードとエクセル） コンピュータ リテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション） コンピュータ リテラシー3（画像と動画）						
兼担	助教	Christopher Pulte (58)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	特任教授	川田忠典 (70)	平成24年4月	症候論Ⅰ 症候論Ⅱ 症候論Ⅲ 症候論Ⅳ						
兼任	特任教授	岡田忠彦 (70)	平成24年4月	人の形態と生活・機能Ⅰ 人の形態と生活・機能Ⅱ 人の形態と生活・機能Ⅲ 人の形態と生活・機能Ⅳ	兼任	特任教授	川田忠典 (70)	平成24年4月	人の形態と生活・機能Ⅰ 人の形態と生活・機能Ⅱ	平成24年4月から 教職課程認定審査の指摘により担当教員追加（24）
				人体の機能と構造学演習						
兼任	講師	岡部恵子 (74)	平成25年4月	母性看護学概論						
兼任	講師	中島洋光 (73)	平成24年4月	芸術論						
兼任	講師	赤沢陽子 (69)	平成24年4月	生命倫理 ジェンダー論						
兼任	講師	山本勇夫 (69)	平成24年4月	生命倫理						
兼任	講師	陳岡啓子 (65)	平成24年4月	文章論						
兼任	講師	熊谷晶子 (64)	平成24年4月	生化学	兼任	講師	田爪正氣 (69)	平成24年4月	生化学	平成24年2月 熊谷兼任講師就任辞退のため担当教員変更（24）
				微生物学	兼任	講師	築地貞實 (65)	平成24年4月	微生物学	
兼任	講師	高桑俊文 (64)	平成24年4月	病理学	兼任	講師	馬淵基樹 (66)	平成24年4月	病理学	平成24年3月 高桑兼任講師病気のため就任辞退。担当教員変更（24）

兼任	講師	増原慶壮 (62)	平成26年4月	臨床薬理学						
兼任	講師	宮川哲夫 (58)	平成26年4月	リハビリテーション看護論						
兼任	講師	川島由起子 (60)	平成24年4月	栄養学Ⅰ 栄養学Ⅱ						
兼任	講師	物部博文 (42)	平成26年4月	学校保健論 生徒指導の理論と実際	専	講師	水野進 (59)	平成24年4月	生徒指導の理論と実際	教職課程認定審査の指摘により担当教員を追加（24） 平成24年6月変更書提出予定
兼任	講師	松下年子 (56)	平成25年4月	精神看護学概論						
兼任	講師	大関泰裕 (50)	平成24年4月	環境リテラシー						
兼任	講師	春日清孝 (50)	平成24年4月	家族社会論						
兼任	講師	松田有子 (47)	平成26年4月	産業保健活動論						
兼任	講師	道上達男 (44)	平成24年4月	サイエンスの考え方						
兼任	講師	高橋秀治 (41)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
兼任	講師	柳澤泰 (44)	平成24年4月	生活と法律（含日本国憲法）						
兼任	講師	別役重之 (37)	平成24年4月	サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
兼任	講師	関根康介 (35)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
兼任	講師	田口(本杉)亜紗 (35)	平成24年4月	コミュニケーション論 日本文化論 異文化論						
兼任	講師	横田祥子 (35)	平成24年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	安部久貴 (32)	平成24年4月	健康・スポーツ（演習）						
兼任	講師	吉岡有文 (62)	平成24年4月	教職論（養護教諭） 教育原理（養護教諭）	専	講師	水野進 (59)	平成24年4月	教職論（養護教諭） 教育原理（養護教諭）	教職課程認定審査の指摘により担当教員変更（24） 平成24年6月変更書提出予定
兼任	講師	根岸茂登美 (52)	平成26年4月	産業保健活動論						
兼任	講師	崔誠姫 (34)	平成24年4月	韓国語						
兼任	講師	久保陽子 (61)	平成26年4月	精神看護学実習						
兼任	講師	林和代 (61)	平成26年4月	精神看護学実習						
兼任	講師	松本あつ子 (59)	平成25年4月	看護情報学						
兼任	講師	牧野浩子 (57)	平成25年4月	看護情報学						
					専	教授	久保恭子 (45)	平成24年4月	発達心理学（養護教諭）	教職課程認定審査での指摘により科目を変更し、教員追加（24） 平成24年6月変更書提出予定
					兼担	准教授	牧野有可里 (44)	平成24年4月	発達心理学（養護教諭）	教職課程認定審査での指摘により科目を変更（24）

（注）・認可申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。

なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。

・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。

・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。

・　年齢は，「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を，「変更状況」には平成２４年５月１日現在の満年齢

を記入してください。

・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

　また，「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。

　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

・　専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

（２）専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9 （ 7 ）	4 （ 1 ）	9 （ 5 ）	8 （ 7 ）	30 （ 20 ）	4 （ 4 ）	9 [△2]	4 [△3]	9 [△4]	8 [△1]	30 [△10]	4 [0]	教授25年1名、26年1名着任，准教授25年3名、講師25年4名着任。助教24年9月1名着任予定。

（注）・「認可時の計画」には，設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，「変更状況」には，平成２４年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（３）専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	松本幸枝	家庭の事情により、就任辞退となった。
2	助教	西田幸典	他大学で短大時と同じ職位で就任することにより、就任辞退となった。

（注）・　専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員として就任予定の松本幸枝は、担当授業科目開設前であり、かつその担当教員による変更を申請中である。最も早く開講する「基礎看護学実習Ⅰ」（平成25年2月）については、事前ガイダンスでの変更を周知することが可能と考えられる。 専任教員として就任予定の西田幸典も、担当授業科目開設前であり、かつその担当教員による変更を申請中である。最も早く開講する「基礎看護学実習Ⅰ」（平成25年2月）については、事前ガイダンスでの変更を周知することが可能と考えられる。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

＜こども教育学部　幼児教育学科＞

（１） 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	学長 教授	小島謙一 (69)	平成24年4月	大学で学ぶとは（含建学の精神） サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
専	教授	繁下和雄 (68)	平成24年4月	保育内容「表現」の指導法 教材研究B（音楽） 音楽Ⅰ ピアノA（入門） ピアノB（初級） ピアノC（中級） 卒業研究 卒業研究ゼミナール						
専	教授	落合優 (65)	平成24年4月	幼児指導法 保育内容「健康」の指導法 教材研究C（運動） 子どもと運動 卒業研究 卒業研究ゼミナール						
専	教授	竹山孝二 (63)	平成24年4月	癒しと心 感性と人間性 倫理と道徳 人間発達論 虐待の精神医学 児童精神医学						
専	教授	葉山登 (62)	平成24年4月	教職実践演習 保育内容「表現」の指導法 教材研究A（造形） 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 造形基礎A 造形基礎B 造形保育論 卒業研究 卒業研究ゼミナール					教職実践演習（幼）	教職課程認定審査での指摘により科目名称を変更（24） 平成24年6月変更届提出予定
専	教授	粟原泰子 (57)	平成24年4月	生活 幼児教育原理 保育原理Ⅰ（思想と歴史） 保育内容演習Ⅱ（幼児） 保育環境論 保育内容「言葉」の指導法 児童文化 児童文学 絵本論 卒業研究 卒業研究ゼミナール 保育実習事前事後指導ⅠB（施設） 保育実習ⅠB（施設）						

専	教授	内海崎貴子 (55)	平成24年4月	ジェンダー論 教育論 教職論 教育史 教育原理 道徳教育の理論と方法 教職実践演習 基礎ゼミナール 研究法A（文献研究） 卒業研究 卒業研究ゼミナール 子育てとジェンダー	専	教授	藏原三雪 (65)	平成24年4月	ジェンダー論※ 教育論 教職論 教育史 教育原理 道徳教育の理論と方法 教職実践演習（幼） 基礎ゼミナール 研究法A（文献研究） 卒業研究 卒業研究ゼミナール	平成23年11月 内海崎教授病気のため就任辞退により担当教員変更（24） 教職課程認定審査での指摘により「教職実践演習」の科目名称変更 平成23年12月変更書提出 平成24年2月教員審査済 判定「可」
									子育てとジェンダー	担当教員変更 平成24年6月変更書提出予定
				保育実践演習	兼任	講師	髙橋祥子 (55)	平成27年4月	保育実践演習	
				ボランティア論	兼任	講師	菅光院亜紀 (55)	平成24年4月	ボランティア論	
専	教授	野尻裕子 (53)	平成24年4月	保育者論 保育原理Ⅱ（現状と課題） 教育課程と指導計画 保育課程論 幼児教育実地研究演習 幼児教育実地研究 保育内容総論 保育内容「環境」の指導法 保育内容「人間関係」の指導法 生涯学習論 キャリア教育 卒業研究 卒業研究ゼミナール 幼稚園教育実習事前事後指導Ⅰ 幼稚園教育実習Ⅰ						
専	教授	橋本雄幸 (45)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 サイエンスのレポート技法（読み方と書き方） コンピュータ リテラシー1（ワードとエクセル） コンピュータ リテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション） コンピュータ リテラシー3（画像と動画） 統計と分析						
専	准教授	溝口武史 (47)	平成24年4月	健康・スポーツ論 保育実践演習 基礎ゼミナール 子どもとメディア 体育Ⅰ 体育Ⅱ 野外活動 卒業研究 卒業研究ゼミナール						
専	准教授	小野智明 (46)	平成24年4月	相談援助 社会的養護 社会的養護内容 児童家庭福祉 子育て支援論C（施設） 卒業研究 卒業研究ゼミナール 保育実習事前事後指導ⅠB（施設） 保育実習事前事後指導Ⅲ（施設） 保育実習ⅠB（施設） 保育実習Ⅲ（施設）						
専	准教授	武井博美 (46)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ						

専	准教授	牧野有可里 (44)	平成24年4月	教育臨床心理学 幼児理解の理論と方法						
				生涯発達心理学	専	講師	丹羽(高橋)さがの (38)	平成24年4月	発達心理学	教職課程認定審査の指摘により科目名称を変更、担当教員を追加 (24) 平成24年6月変更書提出予定
				子どもの発達と臨床Ⅰ 子どもの発達と臨床Ⅱ 子どもの心理療法 家族病理研究						
				カウンセリング論	兼担	講師	水野進 (59)	平成26年4月	教育相談	教職課程認定審査の指摘により科目名称を変更、担当教員を追加 (24) 平成24年6月変更書提出予定
					兼任	講師	物部博文 (40)	平成26年4月		
				家庭支援論 保育相談支援 卒業研究 卒業研究ゼミナール						
専	准教授	細井(高橋)香 (39)	平成24年4月	乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 保育内容演習Ⅰ (3歳未満児) 子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ 病児・病後児保育論 病児・病後児保育実地研究 母子保健概論 母子保健演習 卒業研究 卒業研究ゼミナール 保育実習事前事後指導ⅠA(保育所) 保育実習ⅠA(保育所)						
専	講師	三浦達也 (47)	平成24年4月	コンピュータ リテラシー1(ワードとエクセル) コンピュータ リテラシー2(パワーポイントとプレゼンテーション) コンピュータ リテラシー3(画像と動画) 情報リテラシー 経営情報論(ITと社会・経営)						
専	講師	鈴木明子 (44)	平成24年4月	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽基礎C(器楽) ピアノA(入門) ピアノB(初級) ピアノC(中級) ピアノD(応用) 卒業研究 卒業研究ゼミナール						
専	講師	丹羽(高橋)さがの (38)	平成24年4月	保育実践演習 保育と心理学 道徳性の発達 子育て支援論A(幼稚園) 基礎ゼミナール 研究法B(フィールド研究) 卒業研究 卒業研究ゼミナール 幼稚園教育実習事前事後指導Ⅰ 幼稚園教育実習事前事後指導Ⅱ 幼稚園教育実習Ⅰ 幼稚園教育実習Ⅱ 保育実習事前事後指導Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅱ(保育所)						

専	講師	若生啓 (32)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 サイエンスのレポート技法（読み方と書き方） コンピュータ リテラシー1（ワードとエクセル） コンピュータ リテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション） コンピュータ リテラシー3（画像と動画）						
専	助教	Christopher Pulte (58)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
専	助教	江島絵理子 (37)	平成24年4月	保育実践演習 幼児教育実地研究演習 幼児教育実地研究 基礎ゼミナール 保育環境論						
				保育方法論					教育の方法と技術	教職課程認定審査での指摘により科目名称を変更（24） 平成24年6月変更届提出予定
				生涯学習論 遊びの文化研究 幼稚園教育実習事前事後指導Ⅱ 幼稚園教育実習Ⅱ 保育実習事前事後指導ⅠA（保育所） 保育実習事前事後指導Ⅱ（保育所） 保育実習ⅠA（保育所） 保育実習Ⅱ（保育所）						
兼担	教授	森田孝子 (70)	平成24年4月	大学で学ぶとは（含建学の精神） 医療リテラシー 倫理と道徳 人間発達論						
兼担	教授	佐藤敏子 (62)	平成24年4月	人間発達論						
兼担	教授	久保恭子 (45)	平成24年4月	人間発達論 子どもの障がい論 小児救急処置法						
兼担	准教授	柴田文子 (56)	平成25年4月	人間発達論						
兼担	准教授	石井美恵子 (50)	平成25年4月	小児救急処置法						
兼担	講師	松本幸枝 (50)	平成24年4月	小児救急処置法						平成24年2月 松本兼担講師家庭の事情により就任辞退（24） 専任教員2名が分担して担当するため支障はない。
兼任	講師	近藤充夫 (81)	平成24年4月	健康教育学 健康教育学演習	兼任	講師	岩崎香織 (35)	平成24年9月	健康教育学 健康教育学演習	平成24年3月 近藤兼任講師病気により就任辞退（24） 教員変更
				食育保育論						「後任未定」 兼任講師採用予定で依頼中。
兼任	講師	高橋保子 (79)	平成26年4月	特別支援保育概論 特別支援保育の方法						
兼任	講師	中島洋光 (73)	平成24年4月	芸術論						
兼任	講師	望月重信 (70)	平成25年4月	教育社会学						
兼任	講師	赤沢陽子 (69)	平成24年4月	ジェンダー論						
兼任	講師	陳岡啓子 (65)	平成24年4月	文章論						
兼任	講師	鈴木直美 (61)	平成24年4月	ピアノA（入門） ピアノB（初級） ピアノC（中級） ピアノD（応用）						
兼任	講師	川島由起子 (60)	平成24年4月	子どもの食と栄養						
兼任	講師	三森桂子 (56)	平成24年4月	音楽基礎A（理論ソルフェージュ） ピアノA（入門） ピアノB（初級） ピアノC（中級） ピアノD（応用）						
兼任	講師	普光院亜紀 (57)	平成26年4月	子育て支援論B（保育所）						

兼任	講師	髙橋祥子 (54)	平成24年4月	統合保育論 音楽基礎B(歌唱・伴奏) 音楽基礎D（表現活動） ピアノA（入門） ピアノB（初級） ピアノC（中級） ピアノD（応用）						
兼任	講師	大関泰裕 (50)	平成24年4月	環境リテラシー						
兼任	講師	春日清孝 (50)	平成24年4月	家族社会論 家族関係論						
兼任	講師	道上達男 (44)	平成24年4月	サイエンスの考え方						
兼任	講師	髙橋秀治 (41)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
兼任	講師	柳澤泰 (44)	平成24年4月	生活と法律（含日本国憲法）						
兼任	講師	別役重之 (37)	平成24年4月	サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
兼任	講師	関根康介 (35)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
兼任	講師	仙田考 (43)	平成26年4月	子どもと自然						
兼任	講師	田口（本杉）亜紗 (35)	平成24年4月	コミュニケーション論 日本文化論 異文化論						
兼任	講師	横田祥子 (35)	平成24年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	畳前亜希子 (34)	平成24年4月	ピアノA（入門） ピアノB（初級） ピアノC（中級） ピアノD（応用）						
兼任	講師	安部久貴 (32)	平成24年4月	健康・スポーツ（演習）						
兼任	講師	石川衣紀 (29)	平成24年4月	障がい児保育Ⅰ 障がい児保育Ⅱ						
兼任	講師	平田廣志 (66)	平成27年4月	国語				平成24年4月		配当年次変更により就任時期変更 (24)
兼任	講師	崔誠姫 (34)	平成24年4月	韓国語						
兼任	講師	吉田仁美 (34)	平成24年4月	社会福祉						

（注）・認可申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。

なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈○○学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。

・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。

・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。

・　年齢は，**「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２４年５月１日現在の満年齢**を記入してください。

・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

また，「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。

なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

・　専任教員を変更する場合は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

（２） 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9 (9)	5 (5)	4 (4)	2 (2)	20 (20)	1 (1)	9 [0]	5 [0]	4 [0]	2 [0]	20 [0]	1 [0]	

（注）・「認可時の計画」には，設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入し，「変更状況」には，平成２４年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［ ］内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（３） 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	内海﨑貴子	病気により、就任辞退となった。

（注）・ 専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員として就任予定の内海﨑貴子は、開設前でありかつその担当科目について専任教員による変更ができたので、問題ないと考える。
学生への周知については、支障ないと考える。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6　留意事項に対する履行状況等

看護学部看護学科

区　　分	留　意　事　項	履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
認　可　時 (平成23年10月)	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年生大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。		・設置計画を確実に履行し、四年制大学として水準向上を目指すために、「FD」及び「自己点検」を実施する。 (24)
	・専任教員の補充を必要とされた1授業科目については開学時までに、2授業科目については科目開設時までに、確実に専任教員を配置すること。	2授業科目の1科目目「知的探求入門」は、専任の教授5名の補充は難しいため、当面は教員審査済みの教授4名と他の教員と2名で複数のグループを担当し指導を行っていく。 (24) 2授業科目の1科目目「知的探求入門」は、専任の教授4名と教員審査の不可の教授4名をペアで担当する予定でいたが、24年度の受講生が予定より少なく、23名で教授3名で3つのグループで担当することにした。他の教員はFDとして参加する。(24)	
		2授業科目の2科目目「看護とコミュニケーション」は、専任教員（助教）を平成24年2月教員審査で「可」になり、平成24年4月に採用し、補充済である。(24)	
		1授業科目の「感染看護学」は、専任教員の候補者として助教を平成24年9月採用。平成24年6月の変更書提出予定である。(24)	
設置計画履行状況 調　査　時 (平成24年5月)	「該当なし」		

（注）・　「認可時」には，当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された留意事項に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

こども教育学部幼児教育学科

区　　分	留　意　事　項	履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
認　可　時 （平成23年10月）	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年生大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。		・設置計画を確実に履行し、四年制大学としての水準向上を目指すために、「FD」及び「自己点検」を実施する。(24)
	（その他意見） ・必修科目である「特別支援保育概論」（3年次後期）の基礎と位置づけている「統合保育論」（1年次後期）は、選択科目であることから、配当年次や必修･選択科目の考え方を含め適切な教育課程とすることが望ましい。		・「統合保育論」に関しては、「特別支援保育概論」を学習する上で基礎となることを周知するために、履修指導を行っていく。具体的には、1年次後期科目履修登録に際して、学生に対する履修指導を実施する。(24)
	（その他意見） ・「国語」について、教育の基礎的な科目として専門科目群「教育・保育の研究」に位置付けているが、内容が依然として小学校教員養成の国語課教育法が主眼となっていることから、幼稚園教諭、保育士を養成するための言葉（＝第一言語としての「国語」）に関する内容を充実させることが望ましい。		・シラバスの「学習到達目標」及び「授業計画」に示した通り、幼児期の言語発達やコミュニケーション発達、またそれに対する保育者の援助に関する学習を、授業計画の内容と関連付けながら学習できるようにする。(24)
設置計画履行状況調　査　時 （平成24年5月）	「該当なし」		

（注）・　「認可時」には，当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された留意事項に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

7　その他全般的事項

＜看護学部　看護学科＞
＜こども教育学部　幼児教育学科＞
（１） 設置計画変更事項等

認　可　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
「該当なし」	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

① 実施体制

a　委員会の設置状況

開学と同時に「自己点検・評価・ＦＤ委員会」を設置した。

＜関係規程抜粋＞

①学則・・・第2条（自己点検評価）

「本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」

第4条（教育内容等の改善）

「本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織を設け、研修及び研究を実施するものとする」

②自己点検・評価・ＦＤ委員会規程・・・第1条（趣旨）

「この規程は、横浜創英大学学則第2条及び第4条並びに横浜創英大学各種委員会規程第3条第3項の規定に基づき、横浜創英大学自己点検・評価・ＦＤ委員会（以下「自己点検委員会」という。）の任務、組織その他に関し必要な事項を定めるものとする。」

b　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

原則として月1回開催。

c　委員会の審議事項等

・自己点検・評価・ＦＤの実施体制等に関する事項
・授業内容及び教育方法の改善（ＦＤ）並びに教職員の教育力向上（ＳＤ）のための基本的方針の策定に関する事項
・ＦＤに係る講演会、シンポジウム及び教職員研修会等の開催に関する事項

② 実施状況

a　実施内容（24年度は以下を実施する予定）

・学生による授業評価アンケートの実施
・同上アンケート結果の分析及び授業改善課題への取組み
・ＦＤ研修会（講演会の開催など）
・公開授業の実施

b　実施方法

・平成24年度授業評価実施要項に基づき、前期・後期の全ての授業科目を対象に、「学生による授業評価アンケート」を実施し、その結果を担当教員に配布し学生へのコメントを公開する。
・アンケート結果に基づき、改善課題を抽出し、教学面の課題については両学部が、施設設備面の課題については事務局が中心となって検討する。

・ＦＤ講演会を外部講師を招いて実施する予定。

・公開授業の実施方法については、今後「自己点検委員会」において検討する。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・24年4月に第1回委員会を開催（教員8名、事務局3名の委員で構成）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・学生による授業評価アンケート結果については、その都度担当教員の自己評価結果を学内ＨＰに公開し、学生にフィードバックする。

・授業改善課題については、学内コンセンサスを得たうえで実施していく予定。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

・原則として、前期（6月～7月）、後期（12月～1月）の最終授業時に実施。

b　教員や学生への公開状況，方法等

・学内ＨＰ上で公開。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・設置趣旨書に記載した自己点検・評価及びＦＤに関する事項については、既述のとおり自己点検委員会の活動計画に盛り込み済み。

②　自己点検・評価報告書

a　公表（予定）時期

・平成25年7月公表予定

b　公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、本学教職員及び非常勤講師のほか、他大学・実習施設等の関係機関に配布する予定。

・合わせて大学ＨＰへ掲載する予定。

③　認証評価を受ける計画

・平成28年度（完成年度の翌年）に認証評価機関である日本高等教育評価機構（加盟申請中）の評価を受ける予定。

（注）・　設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４）情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

a　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

b　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（平成24年　6月上旬日　）